

Focus Vol.74

長洲町でキラリ輝く人たち

～地域の活性化を目指して～ 脱サラし、「青パイヤ」を栽培



むら かみ けん た
村上 健太さん
(清源寺 46歳)



【PROFILE】
村上 健太 (むらかみ けんた)
1976年3月25日生まれ。清源寺出身。腹赤小、腹栄中学校卒業。
脱サラし、熊本県では珍しい青パイヤの栽培を行っている。

青パイヤにご興味がおありの方は、ご連絡ください
村上 ☎090-2391-9964

脱サラし、農家へ転身

長洲町で生まれ育ち、就職を機に町外でサラリーマンをしていた村上さん。脱サラし、長洲町へ帰郷するとともに、今年から農家へと転身した。

先祖から引き継いだ土地を守り、活用したかったことや、長洲町の活性化の一助になりたいの思いから、農家を始めることを決意した。どうせなら、身近で栽培されていない珍しいものを、と考えていたところ、青パイヤに出会った。新規就農者でも失敗しにくく、収穫量を見込むことができ、栄養豊富で様々な料理に利用できる青パイヤに魅力を感じ、栽培に着手することを決意した。今年の4月に40本の苗を植え、順調に成長。1本の木に20個から30個の実が実った。9月頃から収穫期を迎えている。

「青パイヤ」とは？

青パイヤは、パイヤが熟す前の青い実の状態のものであり、野菜に分類される。村上さんが栽培するのは、青パイヤ専用に品種改良されたものである。

大きな特徴は、栄養の豊富さであり、「酵素の王様」、「理想の健康・美容食材」と言われている。100℃に加熱しても壊れない「パイン酵素」の作用により、有害物質の分解、免疫力の強化などが期待できると言

今後の展望

健康志向の昨今、青パイヤは少しずつ注目されてきてはいるが、熊本県内においては、まだまだ馴染みは薄い。村上さんは、まずは青パイヤの販路を確保することにより「普通の野菜」として地元に着着させたいと考えている。そして、新たな農業の価値を長洲町から発信し、元気な地域づくりへの貢献や、地産地消による地域創生を図りたいと意気込んでいます。

また、今後は畑を耕すだけでなく、「農家として経営が成り立つシステム」を作ることが重要だと考えている。そのために「6次産業化」に力を入れたいと展望を描き、日々研究を重ねている。